

# 他大学のoffenseチームの特色と、 プレー傾向に関する統計分析

テ組 42121508 横川昂永  
ト組 42101093 飯村周真  
ク組 42111333 須藤芳永  
シ組 42102633 伊牟田憲



# offense(前提)



これから慶應大学と同じTOPリーグに所属する他大学のoffenseチームの傾向を見定めていく。

アメフトにおいてdefenseは、offenseを基にしたうえで考えなければならない。相手のoffenseがどのような戦術で来るのか、チームごとにデータ上の傾向や特色はそれぞれ異なる。そしてこれは年によっても異なり、コーチの考え方や選手層によるものである。

そこで重要になるのがスカウティング(相手チームの分析)であり、これを行なう事で判断力や動くスピードが向上され、defenseメンバー1人1人の守備範囲が広くなるという利点がある。

注意したいのは収集したデータと実際のプレービデオ(HUDL)を見て感じる違いである。データで示されてあることに加え、試合状況を加味しなければ正しい結論にはたどり着かない。

# 法政大学(動画を見て)

- ・表(軸)Run Play(Zone)⇔裏Fk Pass

→どのDriveでも、一発デカいの(1 shot)狙ってくる

- ・1シリーズ内で、長時間のドライブはせず、1 shotで得点を取りに来る

- ・軸はOL

- ・Base Playを様々なperでやってくる

(Formation Offense)

- ・対戦相手ごとにRunのBlockingを変えている

- ・前週の早稲田とは異なり、点差によって戦い方を変えてくる

(catch up→Passが増える)

- ・Passは1 targetではなく投げ分けている

## 注意

- ・Hudl breakからplay開始までが早い

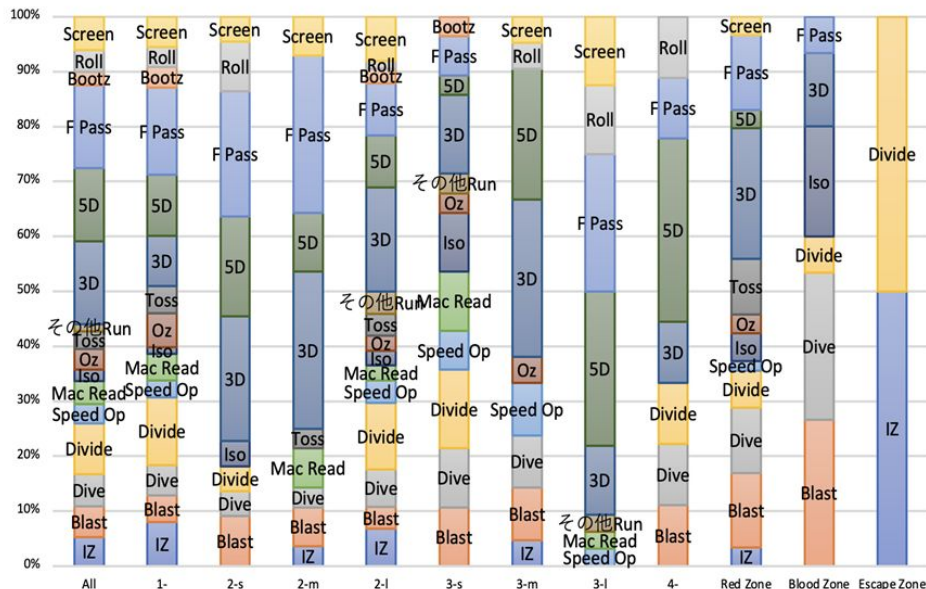
- ・注意したいのは、春のシルスタ戦などは

JetのPlayが見られないこと

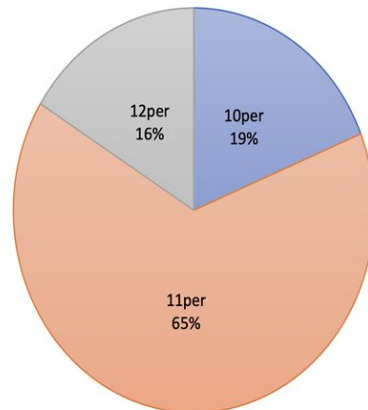
- ・コーディネーターが同じプレーコールをくり返しがち

# 法政大学(2023春)→実際のデータ

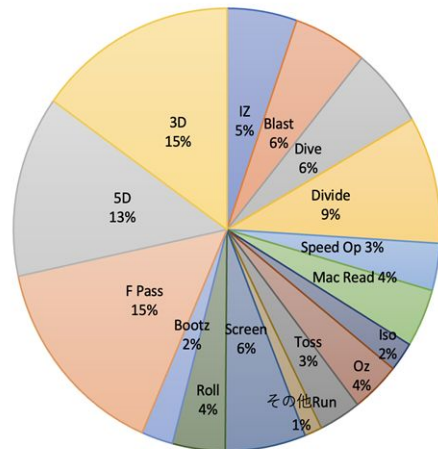
・Down/Distance別



・Personal別

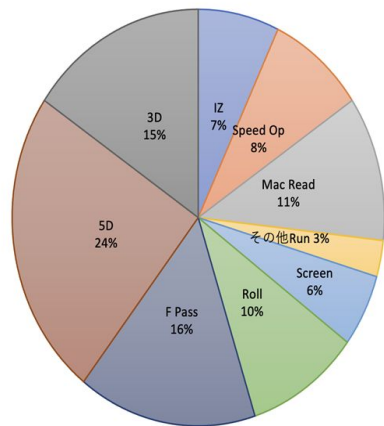


・Play別

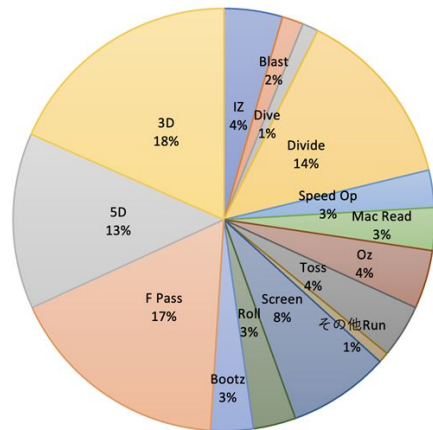


# 法政大学(2023春)

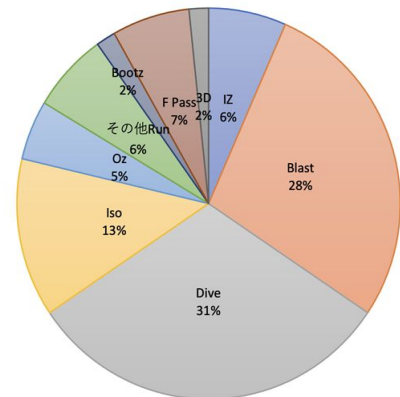
・10per



・11per



・12per



# QB(司令塔)

谷口 雄仁

QB #4

高校：法政二

学年：3 身長：180cm 体重：82kg

## ・特性

Depth：1本目

Type：基本的にポケットムーブを得意とするパス  
ー型QBだが、スクランブル能力も高い

## ・プレー

Drop Back：1歩、3歩ワンヒッチが多い、リズム感  
のあるドロップバック

How to Read：ブレスナップの時点でDBのカバー  
をおおよそ把握し、スナップ後は目線でディフェ  
ンスを動かしてる。

よく投げるPass：フラット、5y hook、単騎タテ、  
コーナー、ポストコーナー

よく見るターゲット：両No1の比率が多い。

vs Pressure：ポケットムーブ能力はかなり高く、  
プレッシャーを目前にしても投げ込もうとする意  
識がある。そのこともあり、時折インターを狙え  
る弾道の球を投げてしまっている。

1Shot?：yes

→気をつける事：肩が強くどの態勢からでも奥を  
狙ってくるのでケア

## ・Tips

Set(足の前後差)：

目線、動き：わざと投げるターゲットとは逆の方  
を最初に向いて、ディフェンダーを油断させよう  
としている。

その他、癖：無理投げが若干ある

法政

## Data Analyzing ~Passing Zone~

Year：2023春 QB：4（谷口）

Hash L(31プレー)

Hash R(34プレー)

0	3.2	6.5	5.9	0	5.9
25.8	0	12.9	11.8	14.7	2.9
3.2	0	16.1	11.8	2.9	11.8
9.6	12.9	9.6	14.7	14.7	2.9

色： 0% ~10% ~15% ~20% 20~%

# 動画解析



選手の身体の動きによって傾向がわかるかもしれない

- ・セットの癖

- ・肩の向き

- ・動き

など

※データ収集中です